

ほげんだより 6月

6月に入り急に蒸し暑くなってきました。気温・湿度の変動が激しいと体が順応しきれず熱中症になりやすいので注意していきたいところです。

5月の病気欠席者

熱…3人/3日 昨日熱…3人/3日 体調不良…1人/1日

お休みはありませんでしたが、ひよこ（全員）・りす（数名）で下痢が見られています。

水いぼの話 いぼを押しつぶすと、チーズのような白い塊が出てきます。この中にウイルスが含まれており、それが皮膚に付くと感染が広がります。水いぼができるのは体全身ですが、特にわきの下や腕の内側やひざの内側、胸などに多くできやすい傾向があります。こういった部位は肌や衣類の摩擦でいぼが潰れやすく、中のウイルスがまわりの皮膚について増殖してしまうのです。また、汗をかいてかゆくなることもあり、ついついひっかいてしまい悪化させてしまいます。爪が伸びているとひっかいて悪化してしまいます。爪は短く丸く切ってあげてください。水いぼがかゆいようならかゆみ止めを塗ってガーゼを当ててひっかかないようにしてあげてください。水いぼは基本的に肌が触れることによってうつる**接触感染**ですが、直接肌が触れなくてもタオルや衣服などから感染してしまうこともあります。暑くなって肌を出す時期になると保育園や幼稚園などの集団生活で次々に感染してしまいますがワクチンはありません。

水いぼ

6月から7月にかけて、主に子供によく見られるウイルス感染症

かゆみや痛みはない

ウイルスのかたまり

ぶにゅぶにゅ

丸くて柔らかい

光沢がある

プールなど、肌が直接触れるところは感染しやすいため注意しよう。

そのまま放っておいても1、2年で治りますが、気になるようなら医療機関に相談しましょう。

ひっかいたりつぶしたりすると中のウイルスが飛び出して全身に広がったり、他の子供にもうつしたりしてしまいます。

水いぼは、ピンセットでつまみ取る治療法が一般的ですが、最近は痛みのない方法も行われています。

感染対策&マナー

ばんそうこう (防水パッチ)

ラッシュガード

<貸し借りしない>

プールの後はシャワーで肌をきれいに洗い流す